

心の声“スマホっととタブレット”



みなさんは街中で車イスを利用している人に
“なにかお手伝いしましょうか”と声をかけたことが
ありますか？

提案

わたしたちは3年生になるとバリアフリー庭園や住居について学びます。そして年に3回、山陽学園大学の渋谷先生と福祉住環境コーディネーターの森本先生を迎えアドバイスをもらっています。森本先生は事故で障がい者になられて40年以上車イスで生活されています。

先生にたずねてみました。“街の中で本当に人の助けがいる時はどうするんですか？”・・・すると意外な答えが返ってきました。“人をジッと見てこの人ならと思った人に声をかけます”と。今でもそうされているそうです。車イスを自分のカラダのように扱っている先生は今でも“人を観る”ことをされているそうです。わたしたちも街の中で車イスを利用している人を見かけて“何かできることがあるかな”と思っても声に出すことができないでいます。

困っている人に声をかける、自分のおもいを伝えたい。そんなきっかけをつくってくれる心の声“スマホっととタブレット”をわたしたちは提案します。



先生たちにアンケートをとってみた

Q 街の中で車イスを利用している人が困っているかもしれない時どうしますか？

A 声をかける 29名 (40名回答)
B 声をかけない 11名

11名の先生は・・・

- 面倒くさいから
- 手助けを求められているかどうか分からないから
- 自信がないから
- 他の人が声をかけてくれると思うから
- 車イスの人から声をかけられれば ... 等々



車イス利用者の森本先生 (福祉住環境コーディネーター)



“スマホっととタブレット” どうですか？

1. 障がい者の人たちが介助してもらえないなら黙ってはいけない。
2. 障がい者の方からアクションをかけなければ手助けしてもらえない。
3. 街の中では障がい者と関わりたくない人。積極的に声をかけ、手助けしてくれる人。どうしようかと思っている人がいます。
この どうしようか？ と思っている人たちと障がい者の人たちが声をかけあえるきっかけとなればいいでしょう。
4. 障がいの程度や身体能力によって使い方がかわると思う。
5. ぜひ街の中で試してみてください。



心の声“スマホっとタブレット”

検索



1



パソコン(タブレット)でメッセージをつくる。

いろんな場所を想定して

2



パソコン(タブレット)からスマホに保存しておく。

スピーカーも
ヒリつけ音声でも
英語でも表示!



完成

スマホでタブレットを操作
メッセージを伝えます。



3



マジックテープで
ヒリはずしもできる

タブレットのケース(防水、
防塵用)を車イスにマジック
テープで取り付ける。

4



蛍光テープを
貼って目立つように

タブレットを装着。

そして...



5



スマホでタブレット
を操作。

スマホとタブレットを
運動させる



スマホっとタブレットのこれから

わたしたちが日常利用している「スマホ」と「タブレット」。今回は街の中で車イスを利用している障がい者の人と健常者の人たちの場合を考えてみました。

この“スマホっとタブレット”視覚障がい者の人たちや聴覚障がい者の人たち・・・いろんな障がいをもった人たちと健常者の人たちがお互いのおもい“心の声”を届けられる。そんなきっかけになればいいなと思います。

“スマホっとタブレット”心の声を届けてみませんか!